

2 各部の基本納まり図

2-6 開口部

①上側(一般仕様^(注))

1) 開口部上側の基本納まり

- 開口部上側は2種類の納め方があり、使用する部材やシーリングの施工方法が異なります。
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 見切縁は型によって表のように異なります。

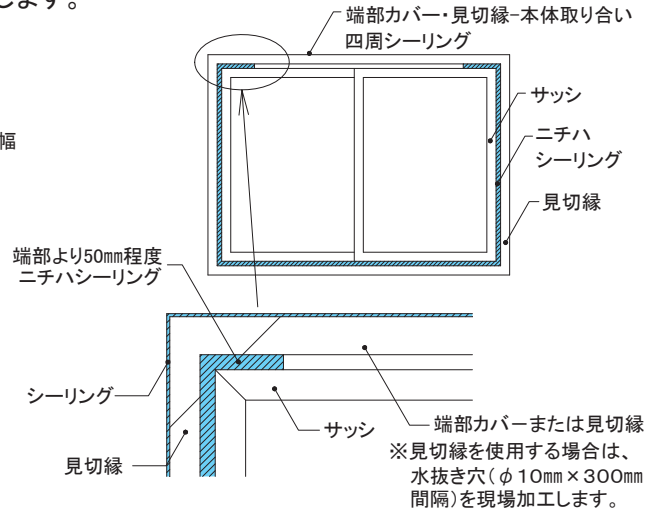
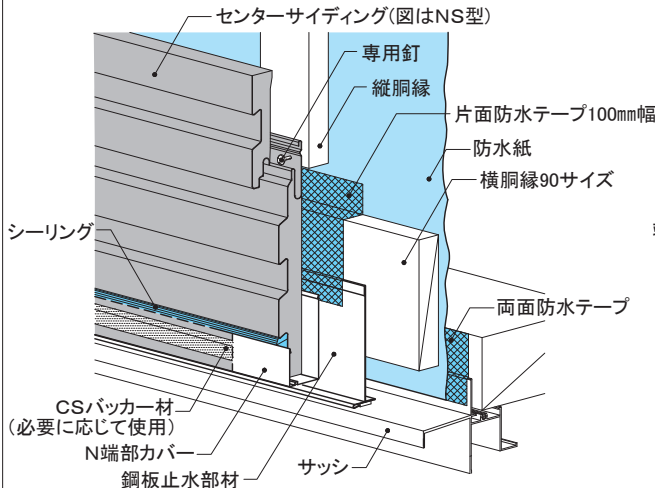
2) 一般仕様

- 開口部上側に鋼板止水部材を取り付け、片面防水テープ100mm幅を施工します。
- 水抜きのため端部カバーまたは見切縁(φ10mm×300mm間隔で水抜き穴現場加工)を使用します。
- (N)端部カバーなどとサッシとの取り合い部は10mm程度の隙間を設けます。
- 開口部上側のサッシには全長にわたりシーリングを充填せず、図のように端部から50mm程度とします。
- 端部カバーなどと本体の取り合い部をシーリングします。

表 部材の設定

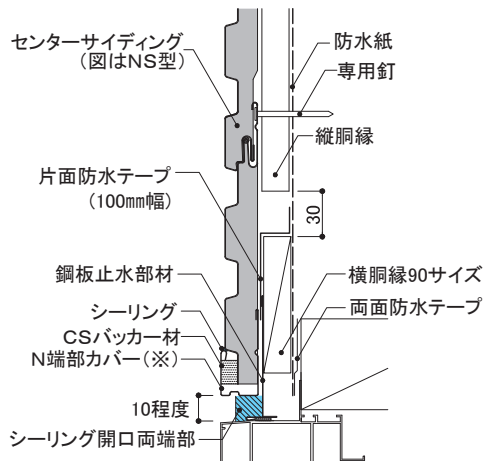
FN型、ST型、NS型	N端部カバー
iシリーズ、F型、FB型、D型、A型	端部カバー

※N端部カバー・端部カバー以外の見切縁は、水抜き穴(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
※廻り縁納めについては、P69を参照してください。
※開口部に使用する端部カバー、見切縁18、見切コーナーは、以下のいずれかの組み合わせで施工してください。
①N端部カバー・N見切縁18・N見切コーナー
②端部カバー・S見切縁18・S見切コーナー



①横張りの場合

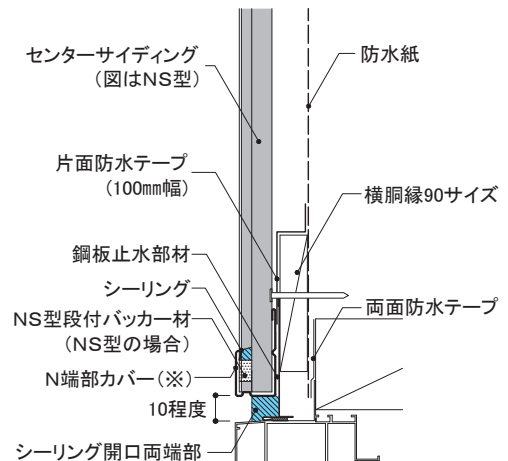
- 通気のため、横胴縁90サイズと縦胴縁の間に30mm程度の隙間を設けます。



NS型、iシリーズ、ST型、
F型、FB型、FN型、D型

※見切縁を使用する場合は、水抜き穴
(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。

②縦張りの場合



NS型、ST型、
F型、FB型、FN型、A型

※見切縁を使用する場合は、水抜き穴
(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。

(注) 本仕様は柄特性上、スマートフラットの施工はできません。